

2012年10月19日

会員・賛助会員 各位

協同金融研究会
事務局長 小島 正之

第108回定例研究会開催のお知らせ

東日本大震災の発生から20ヶ月を経過しましたが、被災地の復旧・復興に向けた課題は山積のようです。そのなかで、被災地の各協同組織金融機関は、被災者に寄り添いながら、地域の復興に向けて懸命な取り組みをされていることが種々報告されており、地域における協同組織金融機関の役割の大きさを改めて実感させられるところです。

アメリカにおいても、地域に根差したコミュニティ・バンクは着実な実績をあげているようです。しかし、日本においてはマスメディアがコミュニティ・バンクを取り上げることはほとんど無く、その実態が正確に私たちのもとに知らされないままになっています。

この程、アメリカのコミュニティ・バンクの全国組織（ICBA）の会長もされたサルバトール・マランカ氏が来日されます。中京大学・由里宗之先生のご紹介を得ましたので、これを機会に、アメリカのコミュニティ・バンクの現状とその活動・事業の状況をお聞きし、私たち協同組織金融機関の活動・事業の今後の展開に役立てる場としていきたいと考え、研究会にお招きすることとしました。

なお、マランカ氏は、サブプライム金融危機を受けた大規模な金融制度改革であるドッド・フランク法をめぐる議会・政府・規制当局首脳への働きかけ・交渉、大手銀行側の利害を擁護した米国銀行協会（ABA）との全面対立、中小企業団体・「ウォールストリートを占拠せよ（Occupy Wall Street）」運動との協調行動など、わが国の金融人（特に中小金融機関）・金融研究者からみても非常に興味のある役割を果たされました。

今回の研究会では、会場を日本大学経済学部の教室をお借りすることができましたので、大学の学生の方々にもご参加いただき、コミュニティ・バンクの実情ばかりでなく、協同組織金融機関の現状も知っていただく機会になればと考えております。

皆様の積極的なご参加とご討議をいただきたく、ご案内申し上げます。

記

1. 開催日：2012年11月12日（月）午後6時30分～8時30分
2. テーマ：**アメリカにおけるコミュニティ・バンクの現状について**
3. 報告者：**Salvatore Marranca** 氏
ICBA（アメリカ・コミュニティ・バンク協会）前会長
カタロウガス・カウンティ・バンク頭取
4. 会場：日本大学経済学部7号館10階「7105番教室」
（JR水道橋駅麹町口下車徒歩約1分）
5. 参加費：1人1,000円 *ただし、学生は無料
6. 申込：別記申込書によりFAXまたはe-mailで、**11月5日（月）まで**に、事務局にお申し込みください。

協同金融研究会 事務局（担当：笹野、小島）

【FAX】03-3262-2260 【e-mail】sasanotn@nifty.com

協同金融研究会 小島・笹野 行 FAX:03-3262-2260

参加申込み〆切日:2012年11月5日(月)

協同金融研究会 第108回定例研究会 参加申込書

第108回定例研究会 参加申込書		2012年	月	日
氏名				
組織名・部署				
他に参加者があれば ご記入ください				
マランカさんにお聞き したいことがあり ましたら、ご記入 ください				

* メールでのお申込の場合は、ご氏名・ご所属を必ずご記入のうえ、下記アドレスにご送信ください。

e-mail : sasanotn@nifty.com